診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】
調査対象となる期間：　2011年1月1日～2026年9月30日の間に、虎の門病院呼吸器センター外科に入院・通院し、手術を受けられた方

【研究課題名】
当院で実施した縦隔腫瘍に対する手術成績の検討

【研究の目的・背景】
《目的》
当院における縦隔腫瘍に対する外科治療成績をまとめ、リスク因子や予後因子を解析することが本研究の目的です。
《研究に至る背景》
当科では縦隔腫瘍に対して年間約３０例の手術を行なっており、その約95%以上を胸腔鏡で実施しています。胸腔鏡手術のハイボリュームセンターである当院において、縦隔腫瘍に対する外科治療成績をまとめ、リスク因子や予後因子を解析することは、今後の肺癌外科治療の改善につながると期待されます。

【研究期間】
2024年7月24日　～　2030年3月31日

【個人情報の取り扱い】
お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。
また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、手術情報、病理結果、各種検査データ、CT 等の画像データ、薬歴、看護記録など

【研究代表者】
虎の門病院　呼吸器センター外科　・　藤森　賢

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】
研究責任者：呼吸器センター外科　・　藤森　賢
研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、　2027 年 4 月30 日　までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
虎の門病院　　呼吸器センター外科　　藤森賢
電話　03-3588-1111(代表)